

福山市議会議員の大田ゆうすけです。皆様、新年明けましておめでとうございます。  
本年も厳しくご指導ご鞭撻をお願いします。

年末年始は恒例の福山山岳会有志による冬山登山に参加しました。  
行き先は北アルプスの西穂高岳(2908m)で、冬山というと、危険な場所というイメージを持たれるかもしれませんが、体力・判断力・生活力・チームワークがうまく噛みあえば、それほど危険ではなく、冬山でしか味わえないすばらしい世界を経験することができます。  
なんと、山の上で中日新聞の記者から取材を受けました。正月登山の様子をじかに取材したかったのでしょう。標高2500mの所まで自分の足で登って、氷点下15°Cの気温の中、素手でノートに記入する姿に記者魂を感じました。やはり自分の目で見て感じた事を記事にするこの姿勢は、ジャーナリストに必須のものでしょう。イラクの情勢が伝わりにくい理由は、特派員の多くが国外退去していることが原因でもあります。肝心の登山はと言うと、山の積雪量はさほどありませんでしたが、強い風雪のため西穂独標(2701m)で時間切れとなり行動を打ち切りました。帰りは前を向けられないほどの風雪にさらされ、顔面に軽度の凍傷を負った人もいました。結果として不完全燃焼登山となり、またの機会にリベンジを果たしたいものです。  
予定としてはこちら↓のような登山となるはずでした。

<http://homepage3.nifty.com/gamou/html/980314.html>

しかし、この冬山登山を通して感じた事も多くありました。  
テントや寝袋などの厳選された生活用品・食糧・登山用品の一切を自分の足で担ぎあげ、常に「何かあったらどうする」といった危機管理意識を念頭に置き、風雪に耐え得る薄い生地1枚内側の3畳ほどのテントの中に6人が膝を寄せ合い、1台のガスコンロで暖房と食事のすべてを賄い、水は雪を溶かして作る貴重品なので歯も磨けず、夜は-20°Cの寒さに目が覚めるといった、究極の不便・不自由な環境が冬山です。  
冬山装備一式：<http://www.youdocan.ne.jp/fuyuyamasoubi.html>  
だからと言って、しんどいつらいだけの環境と言う訳ではありません。山では大変なごちそうである「鮭が入った雑煮」を食べ、皆で苦労して運び上げた少量のお酒を飲み、小さな炎を見ながらの談義は、清貧だった古き良き日本の囲炉裏端のものではないでしょうか。物が余りあふれる現在の日本で、貧しかったけれども心豊であった時代を体験するには、冬山に登るくらいしか方法が無いのかもしれない。

しかし、冬山で万一遭難などのアクシデントが発生した場合に必ず発生するのが「自己責任論」です。昨年、関西学院大学のワンダーフォーゲル部が北陸の豪雪の中に閉じ込められた際も、マスコミは厳しい論調で書き立てました。私は1人の死者も出さずに3日間雪中に耐えて生還した学生を賞賛しますが、暖房の効いた部屋で一杯飲みながらテレビの画面を批評する人には、学生達の奮闘・我慢・辛抱は理解し難いでしょう。報告書が下記にありますので、興味のある方はご参照ください。  
「大長山遭難事故調査報告書」<http://chu-shiba.kwansei.ac.jp/kgwv/survey/survey.pdf>

今年には戦後60周年です。3日の新年互例会で亀井静香代議士も述べられていましたが、この60年間に「自己責任論」も随分変化しました。例えばイラクで人質となった高遠さんは随分と批判を浴びたが、罪無きイラクの女性・子供達になにかできないかと勇気を出した日本人を、「自業自得」などという日本の風潮は、誠に憂慮すべき問題であると思います。

1月2日・3日と恒例の箱根駅伝を観ました。  
タスキを渡した後に倒れこむ選手を見るたびに、「最近の若者もまだまだ捨てたものではない」と、胸が締め付けられるような感動を覚えます。集団競技、特に駅伝は結果に「連帯責任」が問われるため、責任を果たすべく必死になるわけです。しかしそれが苦痛かと言うと、結果が出たときの喜びは1人でマラソン大会に出たときと比較して数倍にも感じるのです。  
私も2日には「福山市民走ろう会」の新年互礼会に出席させていただきました。  
互例会と言っても、さすがは「走ろう会」です。芦田川に架かる水呑大橋から草戸稲荷まで走って初詣に行き、帰りは法音寺橋から水呑大橋までの2kmをタイムトライアルです。私は8分ちょうど、1月9日の福山駅伝に向けて良い練習ができました。  
今年の抱負として、駅伝などを通して福山のスポーツ振興にぜひとも取り組みたいと思います。それにより子供達の責任感・連帯感が芽生えるものと確信しております。

<お知らせ>

★第38回福山駅伝

日時：1月9日(日)15:00 竹ヶ端陸上競技場スタート

脳神経センター大田記念病院駅伝部と、私が副代表を務める中学生の硬式野球チーム「福山リトルシニア」が出場しますので、ぜひ応援に来てください。

「福山駅伝」の存在さえご存知ない方もいらっしゃると思いますが、福山の町興しとスポーツ振興のために、ぜひともこの駅伝大会を活性化したいと考えています。

★虹の会新年会(兼大田ゆうすけ新年互例会)会費1,000円

日時:1月15日(土)13:00~15:00 ニューキャッスルホテルにて  
支援者の皆様と顔を合わせ新年を祝い、市政報告をさせていただきます。また、正月らしく、琴、落語(桂梅園治)、民舞、フラダンスなどの盛り沢山の余興や、抹茶、ぜんざい等をお楽しみください。どなたでもご参加できますので、お誘い合せの上お越しください。

★いずみ幼稚園保護者会主催「ピカリン・コンサート」

日時:1月16日(日)10:00~11:30 曙小学校体育館  
私の子供が通う幼稚園の保護者会で企画したコンサートです、小さなお子さんのいるお父さん、ぜひご参加下さい。チケットは大人800円、子供無料で、前売り券をお求め下さい。  
<http://www.tunagariasobi.com/pikarin%20page.html>

★家族環境小学校inみゆき

私も入会している「ごみ5R本舗」主催による環境問題学習会です。菜の花プロジェクト・チッパーマシン・リサイクル工作・金魚を使った水質実験(合成洗剤の恐怖)・ごみ分別・フリーマーケット・屋台などワークショップ形式でしていくそうです。  
日時:1月23日(日)10:00~15:00  
場所:御幸小学校  
<http://www.sol.dti.ne.jp/~natsu/5r.html>

★藤井マナブCD発売記念のお知らせ

私がお世話になっている福山出身のJAZZドラマー・藤井マナブさんが、初リーダー作“I'm a drummer”～おいらはドラマー～を出されました。私はマナブさんの福山地区後援会長(自称)ですので、ぜひともご支援をお願いします。CDはホームページからも買えますし、近日中にTSUTAYAの店頭でも発売予定です。☆マナブさんからのメッセージ:6月末にアメリカで録音したアルバムが、やっと完成致しました。初リーダー作ということで、自己紹介の様なアルバムにしました。JAZZあり、FUSIONあり、ROCKあり!とてもいいアルバムになったと思っています。是非聞いて下さい!  
<http://manabufujii.com/>

★大田ゆうすけスキーツアー

日時:2月6日(日) 6:00大田記念病院出発(自家用車は病院駐車場へどうぞ)  
行先:ドルフィンバレイスキー場  
参加費:1000円(バス代) リフト代各自負担  
普通、政治家の後援会行事といえばゴルフコンペが定番なのでしょうが、スキーツアーを企画しました。昨年までは「ファンスキーフェスティバル」というイベント名で開催していましたが、今年からは後援会スキーツアーに衣替えさせていただきます。  
家族でも友人でも、どなたでも参加できます。楽しいゲームなどを通して、初心者から上級者まで一緒に楽しめるスキーツアーです。お気軽にご参加ください。  
申し込みはこちらまで:大田 祐介 [<mailto:orion@urban.ne.jp>]

※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※※

大田 ゆうすけ

[orion@urban.ne.jp](mailto:orion@urban.ne.jp)

<http://www.urban.ne.jp/home/kkochan>

K-tai:090-3175-2644

i-mode:mt.kumagamine438@docomo.ne.jp

※※※※※※※※※※※※※※※※※